

## 凛とした気持ちと頑とした行動力で

～日本商工会議所全国商工会議所青年部連合会第23回全国会長研修会北海道のぼりべつ会議～

2月17日(金)と18日(土)の2日間、日本工学院北海道専門学校で『日本商工会議所全国商工会議所青年部連合会第23回全国会長研修会北海道のぼりべつ会議』が開かれ、全国から約1,200人の会員が参加しました。

この研修会は、全国商工会議所青年部連合会の会員が地域経済を担うリーダーとしての資質の向上と意識の高揚を図り、当面する課題などについて意見交換を行い、青年部組織の活性化と充実を図ることを目的に開催されています。

開会式では、大会長を務める登別商工会議所青年部会長の名畑有里佳さんが「地域だけに留まらず全国の仲間と一堂に会し、抱える問題解決のヒント、将来のビジョンを感じ取り、そして凛とした気持ちと頑とした行動力で実行していただくことにより、小さな波紋がやがては大きくなり、それが確かな未来創造につながる」と述べていました。

続いて、『事業成果の発表』や『組織の構築』『組織運営の強化』などについて研修会が行われたほか、会場の外では、登別の物産展が開かれ多くの人でにぎわっていました。



## さっそうと旗門をくぐり抜け

～平成17年度胆振管内スポーツフェスタ 冬季大会～



2月12日(日)、サンライバスキー場で『平成17年度胆振管内スポーツフェスタ冬季大会』（北海道体育協会主催）が開かれました。

同大会は、『スポーツフェスタ』と名称が変わって5回目の開催。種目はスキーまたは歩くスキーで、今回は大回転が行われ、参加した虻田、洞爺、白老、厚真、室蘭、苫小牧、登別、伊達の8市町村の選手は交流を深めながらタイムを競いました。

当日は雪の舞う天候でしたが、参加した97人の選手は、少年、青年、成年、壮年A、同B、同C、一般女子に分かれ、日ごろの練習の成果をいかに発揮し、さっそうと旗門をくぐり抜けていました。団体は苫小牧市が優勝し登別市は2位で連覇はなりませんでした。『少年』では1～3位を独占する健闘を見せていました。

## 手作りのおひな様でひな祭り

～おひな様作り教室～

2月7日(火)と8日(水)の2日間、市民会館で『おひな様作り教室』（文化・スポーツ振興財団主催）が開かれました。

この教室は、おひな様を楽しく作ってもらおうと、今年初めて開催されたもので、6人が参加しました。

参加者は、講師の太田輝代さんの指導で古はがきや布、刺し子、発泡スチロールなどを使用して、手づくりのかわいらしいおひな様を完成させていました。

参加した市民は、「袖を折るんですが、折り加減でおひな様が大きくなったり、小さくなったりするので、そこが難しかったです。出来上がったおひな様は、家のテレビの上に飾ります」と完成品を見ながら、楽しそうに話してくれました。

